

江津商工会議所 地域経済動向調査報告（概要版）

令和6年度 第2四半期（令和6年7月～9月）

- (1) 調査時点 2024年11月10日時点
(2) 調査方法 郵送により実施 回答 66件
(3) 調査対象 当所会員名簿から業種のバランスを考慮し抽出

1. 景況天気図

特に好調	好調	不变	不振	極めて不振
50≤DI	25≤DI<50	0≤DI<25	▲25≤DI<0	DI<▲25

DIとは…（増加・好転・過剰の企業割合）－（減少・悪化・不足の企業割合）

前年同期比	全業種	製造	建設	運送	卸・小売	飲食・サービス
売上高						
	▲ 1.5	42.9	▲ 53.8	16.7	▲ 29.4	26.7
資金繰り						
	▲ 24.2	0.0	▲ 38.5	▲ 40.0	▲ 29.4	▲ 21.4
業況						
	▲ 10.9	14.3	▲ 41.7	▲ 33.3	▲ 29.4	20.0
採算 (経常利益)						
	▲ 17.2	14.3	▲ 41.7	33.3	▲ 47.1	▲ 13.3
雇用(今期水準)	▲ 33.9	▲ 35.7	▲ 61.5	▲ 50.0	▲ 12.5	▲ 23.1
在庫(今期水準)	▲ 2.6	▲ 15.4			6.3	

2. まとめ

今期、飲食・サービス業においてはマイナス幅が縮小、もしくは好調に転じた。令和5年5月に5類に引き下がらた新型コロナウイルスの余波が一旦は落ち着いたものとみられる。有福温泉も売上高や業況が好転している。

一方で、全業種において資金繰りが悪化している。原因として予想されるのは、円高の影響や急激な物価上昇。コメントでも苦慮している事業者が多く見受けられ、経営上の課題として『仕入・材料価格の上昇』を1位に挙げた事業者は回答者の3割にのぼった。

建設業・運送業では物価高よりも『従業員確保難』が深刻である。